

調達要領指定書	発 簡 番 号	
	調 達 要 求 番 号	5 1 T V 2 A I 0 2 5 1 .
	調 達 要 求 年 月 日	令和 7 年 8 月 1 日
	作 成 部 課	補給統制本部 通信電子部
	作 成 年 月 日	令和 7 年 8 月 1 日
品 名	リチウムイオン電池 JBB-7008 他1品目	
仕様書番号	GS-C506066F	

指 定 事 項

1 1.3 種類

今回の調達については、種類2及び種類3とする。

2 5.4 無償貸付品

表7 無償貸付品の貸付時期、返納時期、貸付場所及び返納場所は、次による。

番号	品名	数量	貸付時期	返納時期	貸付場所・返納場所
1	充電器JPP-U62	1	契約の相手方要求後2ヶ月以内	契約納期まで	陸上自衛隊 関東補給処
2	充電器JPP-U63	1			
3	充電器JPP-U64	1			
4	広帯域多目的無線機 (携帯用Ⅰ型) JPRC-Z100	1			
5	広帯域多目的無線機 (携帯用Ⅱ型) JPRC-Z10	1			

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物 品 番 号		仕 様 書 番 号	
防衛専用二次電池 リチウムイオン電池（広多無用）		GS-C506066F	
		防衛大臣承認	年 月 日
		作 成	平成26年 6月16日
		変 更	令和 7年 4月 8日
		作成部隊等名	補給統制本部 通信電子部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊において使用する広帯域多目的無線機（携帯用Ⅰ型及び携帯用Ⅱ型）及び広帯域多目的無線機（携帯用）JPRC-Z11-（ ）用のリチウムイオン電池JBB-7007、リチウムイオン電池JBB-7008及びリチウムイオン電池JBB-7009（以下，“この電池”という。）について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書に用いる用語及び定義は、次によるほか、JIS C 8711、JIS C 62133-2及びGLT-CG-C000001による。

1.2.1

安全弁

内部短絡などの異常によって素電池内圧が上昇した場合に、電池内のガス及び電解液を電池外に排出する機構をいう。

1.2.2

PTC素子

素電池内に設計限界以上の電流が流れた場合又は素電池の温度が設計限界以上に上昇した場合に、電流を遮断して急激な温度上昇を抑える過電流保護素子をいう。

1.2.3

同一ロット

同一の試験上で、同じ電池を使用することをいう。

1.3 種類

種類は、表1による。

表1－種類

番号	品名	物品番号	注記
1	リチウムイオン電池 JBB-7007	—	広帯域多目的無線機（携帯用Ⅰ型）用
2	リチウムイオン電池 JBB-7008	—	広帯域多目的無線機（携帯用Ⅰ型）用大容量タイプ
3	リチウムイオン電池 JBB-7009	—	広帯域多目的無線機（携帯用Ⅱ型）用、 広帯域多目的無線機（携帯用）JPRC-Z11-（ ）用

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、表1の品名による。

1.5 引用文書等

1.5.1 引用文書

この仕様書に引用する次の文章は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

J I S C 8 7 1 1	ポータブル機器用リチウム二次電池
J I S C 6 2 1 3 3 - 2	ポータブル機器用二次電池の安全性－第2部：リチウム二次電池
J I S Z 0 2 3 7	粘着テープ・粘着シート試験方法
J I S Z 9 0 1 5 - 1	計数値検査に対する抜取検査手順－第1部：ロットごとの検査に対するAQL指標型抜取検査方式
N D S C 0 0 0 2	地上用電子機器通則
N D S C 0 1 1 0	電子機器の運用条件に対する試験方法
N D S Z 8 2 0 1	標準色

b) 仕様書

D S P Z 9 0 0 8	品質管理等共通仕様書
G L T - C G - C 0 0 0 0 0 1	陸上自衛隊電子機器共通仕様書
G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1	陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書
G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 9	陸上自衛隊 I T 利用装備品等サプライチェーン・リスク対応共通仕様書
G S - C 2 1 5 8 1 7	広帯域多目的無線機（携帯用 I 型）
G S - C 2 1 5 8 1 8	広帯域多目的無線機（携帯用 II 型）
G S - C 2 1 6 0 2 0	広帯域多目的無線機（携帯用） J P R C - Z 1 1 - ()

c) 法令

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（平成11年 法律第86号）

情報システムに関する調達に係るサプライチェーン・リスク対応のための措置について（通達）
〔防装庁（事）第3号（31. 1. 9）〕

情報システムに関する調達に係るサプライチェーン・リスク対応のための措置の細部事項について（通知）〔装プ武第188号（31. 1. 9）〕

1.5.2 関連文書

I T 利用装備品等及び I T 利用装備品等関連役務の調達におけるサプライチェーン・リスクへの対応について（通知）〔装管調第807号（令和3年1月21日）〕

危険物輸送に関する国連勧告

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求事項

- a) この電池の設計条件は、N D S C 0 0 0 2 の2.1, 2.2.1, 2.2.2及び2.2.8に適合する。

- b) 素電池の種類，製造者名，製品の組立製造者名，安全のための機構，装置を示した素電池の詳細構造図及びこの電池に使用する材料の証明書を明確にする。細部は，承認図面による。

2.2 設計条件

2.2.1 主要諸元

主要諸元は，次による。

- a) **電池形式** リチウムイオン二次電池
b) **電池構成** 電池構成は，表2による。

表2－電池構成

番号	品名	構成
1	リチウムイオン電池 JBB-7007	JIS C 8711 に示す ICR19 ／65×2 並列×4 直列
2	リチウムイオン電池 JBB-7008	JIS C 8711 に示す ICR19 ／65×4 並列×4 直列
3	リチウムイオン電池 JBB-7009	JIS C 8711 に示す ICR19 ／50×2 並列×2 直列

- c) **公称電圧** 公称電圧は，表3による。

表3－公称電圧

番号	品名	公称電圧
1	リチウムイオン電池 JBB-7007	14.8 V
2	リチウムイオン電池 JBB-7008	14.8 V
3	リチウムイオン電池 JBB-7009	7.2 V

- d) **公称容量** 公称容量は，表4による。

表4－公称容量

番号	品名	公称容量
1	リチウムイオン電池 JBB-7007	4 600 mAh 以上
2	リチウムイオン電池 JBB-7008	9 200 mAh 以上
3	リチウムイオン電池 JBB-7009	2 900 mAh 以上

- e) **絶縁抵抗** 5 MΩ
f) **寿命** 300 サイクル時，容量が公称容量の60 % 以上
g) **使用温度・湿度範囲** 標準充電及び標準放電において充電時使用温度 0℃～40℃及び放電時使用温度 0℃～50℃とし，相対湿度 45 %～85 % とする。
なお，この電池の充電保護温度範囲は，低温で 0℃とし，高温で 55℃～60℃の範囲とする。
h) **容量回復率** 未使用時 1 年後，80 % 以上とする。（保存温度：-20℃～+20℃）

2.2.2 安全性

安全性は，次による。

- a) この電池は，変形，破裂，発火（異常発熱を含む。） ，漏液などを生起しない。
b) JIS C 62133-2 の7.3に示す予見可能な誤使用をした場合の要求基準を満足する。
c) “危険物輸送に関する国連勧告”（国連勧告試験 38.3）に定められたリチウムイオン電池パック

単体（こん包及び表示を除く。）の安全規格を満たす。

2.3 部品・材料・加工方法

部品、材料及び加工方法は、GLT-CG-C000001の2.1による。ただし、やむを得ない場合は、承認図面による。

2.4 構造・形状・寸法・質量

2.4.1 構造・形状

構造及び形状は、図5～図7によるほか、次による。

なお、細部は、承認図面による。

- a) この電池は、堅ろうであり、野外における連続使用に耐え得る構造である。
- b) 素電池は、安全弁及びPTC素子を内蔵する。
- c) 素電池を接続するためのターミナル板のスポット溶接は、熱によって電池の性能に悪影響を与えず、確実に接着する。
- d) この電池は、振動、衝撃などによってターミナル板及び配線の剥離が起きず、ジャケット内で素電池などのずれが生起しない構造である。
- e) この電池の外形は、硬質プラスチックとし、著しい変形及びきずがなく表示が鮮明である。

2.4.2 寸法・質量

寸法及び質量は、図5～図7によるほか、細部は、承認図面による。

2.5 色

色は、NDS Z 8201の色番号2812 [黒(2) N1.5]とする。

2.6 機能

機能は、次による。

- a) 過充電保護機能、過放電保護機能、過電流保護機能及び出力短絡保護機能をもつ。
- b) 次のプロトコル／通信データの通信が可能とする。
 - 1) プロトコル：SMBus (System Management Bus) ver1.1
 - 2) 通信データ：Smart Battery Data Specification Rev1.1
- c) 広帯域多目的無線機（携帯用Ⅰ型及び携帯用Ⅱ型）の附属品である充電器JPP-U62，充電器JPP-U63及び充電器JPP-U64（以下，“充電器”という。）を用いて充電が可能であり、充電器において、この電池の充電状態を確認することが可能である。

2.7 性能

2.7.1 環境条件に対する性能

環境条件に対する性能は、表11に示す試験方法によって試験を行い、表5に示す性能を満足する。

なお、環境条件に対する試験方法を実施した電池は、納入しない。

表5－環境条件に対する性能

番号	項目	性能
1	耐振性	a) 漏液，安全弁の作動，破裂及び発火がない。
2	耐衝撃性	b) 表6の番号3及び番号4の性能を満足する。
3	耐水性	c) 内部に有害な浸水がない。
4	高温放電	表6の番号3の性能を満足する。
5	低温放電	

2.7.2 電気的性能

電氣的性能は、表12に示す試験方法によって試験を行い、表6に示す性能を満足する。

表6－電氣的性能

番号	項目		性能	注記	
1	開路電圧	JBB-7007	15.0 V以上	—	
		JBB-7008	15.0 V以上		
		JBB-7009	7.2 V以上		
2	閉路電圧	JBB-7007	15.0 V以上	—	
		JBB-7008	15.0 V以上		
		JBB-7009	7.2 V以上		
3	放電持続時間	JBB-7007	高温充電時	8時間以上	高温放電時，電池表面が80℃を超えないものとする。
			低温充電時	8時間以上	
		JBB-7008	高温充電時	16時間以上	
			低温充電時	16時間以上	
		JBB-7009	高温充電時	10時間以上	
			低温充電時	10時間以上	
4	充電時間	JBB-7007	高温充電時	4時間以内	—
			低温充電時	5時間以内	
		JBB-7008	高温充電時	8時間以内	
			低温充電時	9時間以内	
		JBB-7009	高温充電時	4時間以内	
			低温充電時	5時間以内	

2.8 製品の表示

製品の表示は、GLT-CG-Z000001の2.3、GLT-CG-C000001の2.5及びNDS C 0002の2.1.13による。ただし、表示内容には、極性表示、取扱上の禁止事項、再資源化マークなどを含む。細部は、図5～図7による。

2.9 サプライチェーン・リスク対応

サプライチェーン・リスク対応は、次による。

- この電池は、“情報システムに関する調達に係るサプライチェーン・リスク対応のための措置について（通達）”及び“情報システムに関する調達に係るサプライチェーン・リスク対応のための措置の細部事項について（通知）“によって、この電池のサプライチェーンにおいて不正プログラムの埋込み、情報の窃取、不正機能の組込みなどが行われるリスクへの対策を行う。
- この電池の製造に当たり、契約の相手方（下請負者、再委託先等を含む。）は、契約物品（寄託品を含む。）について、情報の漏えい若しくは破壊又は障害等のリスク（未発見の意図せざる脆弱性を除く。）が潜在すると知り、又は知り得るべきソースコード、プログラム、電子部品、機器等の埋込み又は組込みその他官側の意図せざる変更を行わず、かつ、そのために必要な相応の管理を行う。
- IT利用装備品等サプライチェーン・リスク対応については、GLT-CG-Z000009の2.2による。

2.10 品質管理

品質管理は、DSP Z 9008とし、要求事項は、表1のcによる。

3 品質保証

3.1 試験

契約の相手方は、国内素電池製造者又は国内試験機関において、2.2.2 b)、2.2.2 c)、2.4.2、2.6 c)及び2.7について表7に示す数量の試験を実施する。

3.2 試験方法

試験方法は、次による。

a) 環境条件に対する試験方法は、表11による。

b) 電氣的性能に対する試験方法は、表12による。

なお、試験条件は、次による。

1) 周囲温度は、5℃～35℃とする。ただし、放電持続時間及び充電時間の場合は、次による。

1.1) 高温：50℃±2℃（放電持続時間）及び40℃±2℃（充電時間）

1.2) 低温：0℃±2℃

2) 相対湿度は、45%～85%とする。ただし、放電持続時間及び充電時間の場合は、65%±5%とする。

c) 試験における試料数は、表7による。

表7－試料数

番号	試験項目	試料数
1	表12番号1 開路電圧	JIS Z 9015-1の検査水準（Ⅱ） による2回抜取り方式の数量
2	表12番号2 閉路電圧	
3	表12番号3 放電持続時間	2個
4	表12番号4 充電時間	
5	表11番号1 耐振性	
6	表11番号2 耐衝撃性	
7	表11番号3 耐水性	
8	表11番号4 高温放電	
9	表11番号5 低温放電	
10	2.2.2 安全性 b)	
11	2.4.2 寸法・質量	
12	2.6 機能 c)	
13	2.2.2 c) 国連勧告試験	国連勧告試験 38.3 リチウム電池による。

3.3 試験の省略

試験の省略は、GLT-CG-C000001の箇条3によるほか、2.2.2 c)の試験については、契約の相手方に試験の実績がある場合は、試験を省略してもよい。

3.4 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

4 出荷条件

4.1 出荷時充電容量

この電池の出荷時充電容量は、設計計算書による。

なお、出荷時充電容量を指定する場合は、調達要領指定書によって指定する。

4.2 包装

包装は、商慣習による。

4.3 包装の表示

包装の表示は、GLT-CG-Z000001の4.2.3とし、個装及び内装の表示は、商慣習による。

5 その他の指示

5.1 納入時添付品

納入時添付品は、表8による。

表8—納入時添付品

名称	数量	摘要
二次電池ラベル	1	細部は、図8とし、この電池1個に対し、1シートを添付する。

5.2 提出書類

提出書類は、表9に示すほか、GLT-CG-C000001の箇条6とし、資料の種類は、GLT-CG-C000001の表2区分1 a), c)及びd)とする。

表9—提出書類

番号	名称	形態 ^{a)}	数量 ^{b)}	提出先	提出時期	摘要
1	安全データシート (SDS) ^{c)}	電子媒体	1	陸上自衛 隊補給統 制本部通 信電子部	納入時	安全データシート（SDS）とは、“特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律”による。作成日又は改定日を明記した最新版とする。
2	設計計算書		1		契約後速やかに。	表13及び表14とし、細部は、官側との調整による。 なお、契約の相手方に提出の実績があり、内容に変更がない場合は、提出を省略することが可能である。

表9－提出書類（続き）

番号	名称	形態 ^{a)}	数量 ^{b)}	提出先	提出時期	摘要
3	試験成績書	電子媒体	1	陸上自衛 隊補給統 制本部通 信電子部	試験終了 後速やか に。	契約の相手方に提出の実績があり、内容に変更がない場合は、提出を省略することが可能である。
注 ^{a)} 電子化データは、CD又はDVDで提出するものとし、細部要領については、官側との調整による。						
注 ^{b)} 規定の数量と異なる場合は、調達要領指定書の数量によって指定する。						
注 ^{c)} 日本語版及び英語版とする。						

5.3 承認用図面

承認用図面は、この改修に伴う改定部分だけとし、GLT-CG-C000001の箇条4によって作成し、承認用図面3部を契約担当官等へ提出し、承認を受ける。

5.4 無償貸付品

無償貸付品は、GLT-CG-Z000001の箇条5及び表10のほか、この電池の設計、製造、試験などにおいて官側が必要と認めた資料及び物品について、無償で貸付けを受けることが可能である。

なお、貸付時期、貸付場所、返納時期及び返納場所は、調達要領指定書によって指定する。

表10－無償貸付品

番号	品名	数量 ^{a)}	注記
1	充電器 JPP-U62	1	広帯域多目的無線機（携帯用Ⅰ型）附属品
2	充電器 JPP-U63	1	
3	充電器 JPP-U64	1	
4	広帯域多目的無線機（携帯用Ⅰ型）JPRC-Z100	1	GS-C215817
5	広帯域多目的無線機（携帯用Ⅱ型）JPRC-Z10	1	GS-C215818
注 ^{a)} 規定の数量と異なる場合は、調達要領指定書によって指定する。			

5.5 不具合発生時の処置

契約の相手方は、納入されたこの電池（以下、“納入品”という。）について、通常の保管及び使用状態において破裂、発火、漏液などの不具合が生じた場合、官側と協議のうえ、原因究明を実施するとともに、納入品の品質及び構造に問題があると判断した場合は、速やかに回収及び交換を実施する。

5.6 技術資料の閲覧

契約の相手方は、製造、検査その他の技術資料を官側から要求があった場合、閲覧に供する。

5.7 官側との連携

契約の相手方は、この電池の設計及び製造に当たり、官側と密接に連携をとり、意見の調整に努める。

5.8 知的財産権に関する注意

知的財産権に関する注意は、GLT-CG-Z000001の8.1による。

5.9 官側の支援

契約の相手方は、製造、試験、検査及び納入のための諸作業のうち、契約の相手方自身で行うことが不可能な場合は、契約担当官等の指示を受ける。

5.10 仕様書に関する疑義

この仕様書に関する疑義は、GLT-CG-Z000001の8.3による。

表11—環境条件に対する試験方法

番号	試験項目	試験方法	試験条件
1	耐振性	NDS C 0110の3.1.1 a)及び3.1.3による。	a) NDS C 0002の2.2.1表5区分A及び区分Dによる。 b) 非動作試験とする。 c) 充電完了から1時間以上経過したものを使用する。 d) 同一ロットの電池を使用する。 e) 表6番号3を計測完了後、表6番号4を引き続き計測する。
2	耐衝撃性	NDS C 0110の3.2.2表2の区分D及び3.2.4による。	a) NDS C 0002の2.2.2表6区分Dによる。 b) 非動作試験とする。 c) 充電完了から1時間以上経過したものを使用する。 d) 同一ロットの電池を使用する。 e) 表6番号3を計測完了後、表6番号4を引き続き計測する。
3	耐水性	NDS C 0110の3.10.1及び3.10.3による。	a) NDS C 0002の2.2.8表9の区分Cによる。 b) 非動作試験とする。 c) 充電完了から1時間以上経過したものを使用する。 d) 端子部を除く。 e) 同一ロットの電池を使用する。 f) 表6番号3を計測完了後、表6の番号4を引き続き計測する。
4	高温放電	充電完了後、50℃±2℃で4時間静置し、放電持続時間を計測する。	同一ロットの電池を使用する。
5	低温放電	充電完了後、0℃±2℃で4時間静置し、放電持続時間を計測する。	同一ロットの電池を使用する。

表12－電氣的性能に対する試験方法

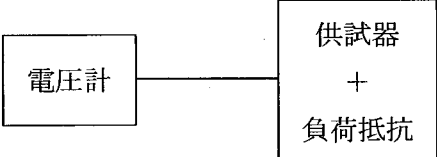
番号	試験項目	試験方法
1	開路電圧	 図1 充電完了から1時間以上経過したものを使用し，開路電圧を測定する。
2	閉路電圧	 図2 a) JBB-7007については，充電完了から1時間以上経過したものを使用して両端子間に20 Ωの負荷抵抗を接続し，回路を閉じ，1分以内に閉路電圧を測定する。 b) JBB-7008については，充電完了から1時間以上経過したものを使用し，両端子間に10 Ωの負荷抵抗を接続して回路を閉じ，1分以内に閉路電圧を測定する。 c) JBB-7009については，充電完了から1時間以上経過したものを使用し，両端子間に15 Ωの負荷抵抗を接続して回路を閉じ，1分以内に閉路電圧を測定する。
3	放電持続時間	 図3 a) JBB-7007及びJBB-7008は，充電完了から1時間以上経過したものを使用し，27.8 Wの電力負荷で2分，7.0 Wの電力負荷で2分及び3.5 Wの電力負荷で16分放電することを放電終止電圧12.0 Vまで繰り返し，放電持続時間を測定する。 b) JBB-7009は，充電完了から1時間以上経過したものを使用し，9 Wの電力負荷で1秒，4 Wの電力負荷で1秒及び0.7 Wの電力負荷で8秒放電することを放電終止電圧6.0 Vまで放電し，放電持続時間を測定する。

表12－電気的性能に対する試験方法（続き）

番号	試験項目	試験方法
4	充電時間	 図4 a) 充電の前に、この電池を放電終止電圧まで放電する。 b) 試験用治具と接続して充電を開始し、満充電までに要する時間を測定する。 c) 試験用治具の定電流定電圧条件は、次による。 1) JBB-7007及びJBB-7008 16.4V/3.3A 2) JBB-7009 8.2V/2.0A

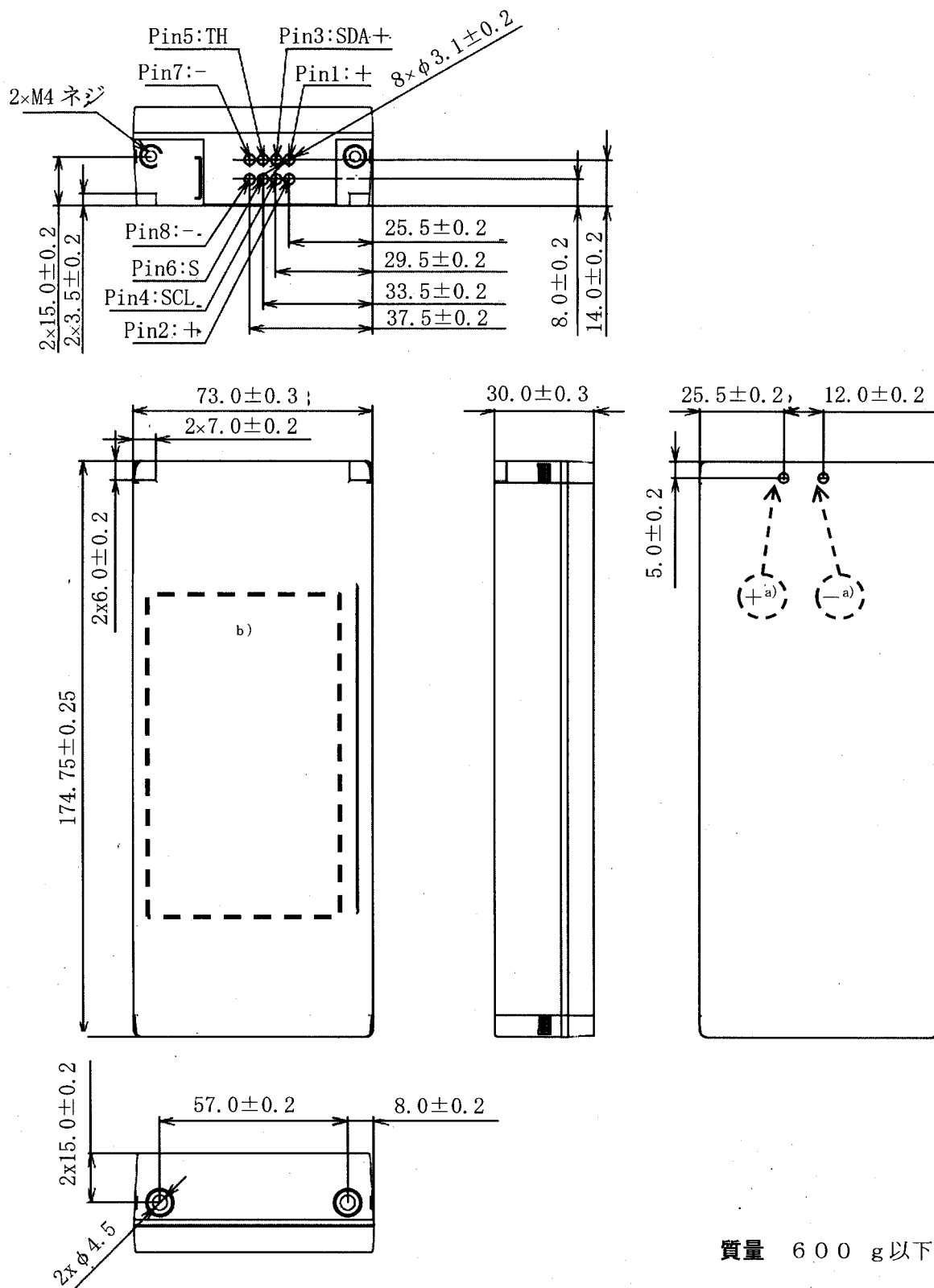
表13－設計計算の項目

番号	項目	番号	項目
1	公称容量	20	BMU
2	公称電圧	20.1	General Descriptions
3	放電終止電圧	20.1.1	Applied Field
4	充電電圧	20.1.2	BMU Block Diagram
5	充電電流	20.1.3	Host Connector Terminals
6	放電電流	20.2	BMU Functions
7	充電温度保護範囲	20.2.1	Charge Control
8	放電温度保護範囲	20.2.2	Discharge Control
9	過放電保護電圧	20.2.3	Remaining Capacity Management
10	過電流保護(充電電流)	20.2.4	Safety Control
11	過電流保護(放電電流)	20.2.5	Communications
12	過電圧保護(充電電圧)	20.2.6	Supplementary Function
13	予備充電電流	20.3	Smart Battery Data (表14による。)
14	予備充電タイムアウト時間		
15	温度保護		
16	短絡保護		
17	急速充電切替閾値		
18	充電完了条件		
19	出荷時充電容量 (%)		

表14—Smart Battery Data

番号	Slave Functions	Code	Access	Data	Initial	Range or Contents
1	Manufacturer Access	0x00	r/w	Word	—	—
2	Remaining Capacity Alarm	0x01	r/w	mAh or 10mWh	—	—
3	Remaining Time Alarm	0x02	r/w	Minutes	—	—
4	Battery Mode	0x03	r/w	Bit flags	—	—
5	At Rate	0x04	r/w	mA or 10mW	—	—
6	At Rate Time To Full	0x05	r	Minutes	—	—
7	At Rate Time To Empty	0x06	r	Minutes	—	—
8	At Rate OK	0x07	r	Boolean	—	—
9	Temperature	0x08	r	0.1°K	—	—
1 0	Voltage	0x09	r	mV	—	—
1 1	Current	0x0a	r	mA	—	—
1 2	Average Current	0x0b	r	mA	—	—
1 3	Max Error	0x0c	r	Percent	—	—
1 4	Relative State Of Charge	0x0d	r	percent	—	—
1 5	Absolute State Of Charge	0x0e	r	Percent	—	—
1 6	Remaining Capacity	0x0f	r	mAh or 10mWh	—	—
1 7	Full Charge Capacity	0x10	r	mAh or 10mWh	—	—
1 8	Run Time To Empty	0x11	r	Minutes	—	—
1 9	Average Time To Empty	0x12	r	Minutes	—	—
2 0	Average Time To Full	0x13	r	Minutes	—	—
2 1	Charging Current	0x14	r	mA	—	—
2 2	Charging Voltage	0x15	r	mV	—	—
2 3	Battery Status	0x16	r	Bit flags	—	—
2 4	Cycle Count	0x17	r	Count	—	—
2 5	Design Capacity	0x18	r	mAh or 10mWh	—	—
2 6	Design Voltage	0x19	r	mV	—	—
2 7	Specification Info	0x1a	r	Unsignedint	—	—
2 8	Manufacture Date	0x1b	r	Unsignedint	—	—
2 9	Serial Number	0x1c	r	Number	—	—
3 0	Reserved	0x1d-0x1f	—	—	—	—
3 1	Manufacturer Name	0x20	r	String	—	—
3 2	Device Name	0x21	r	String	—	—
3 3	Device Chemistry	0x22	r	String	—	—
3 4	Manufacturer Data	0x23	r	data	—	—

単位 mm

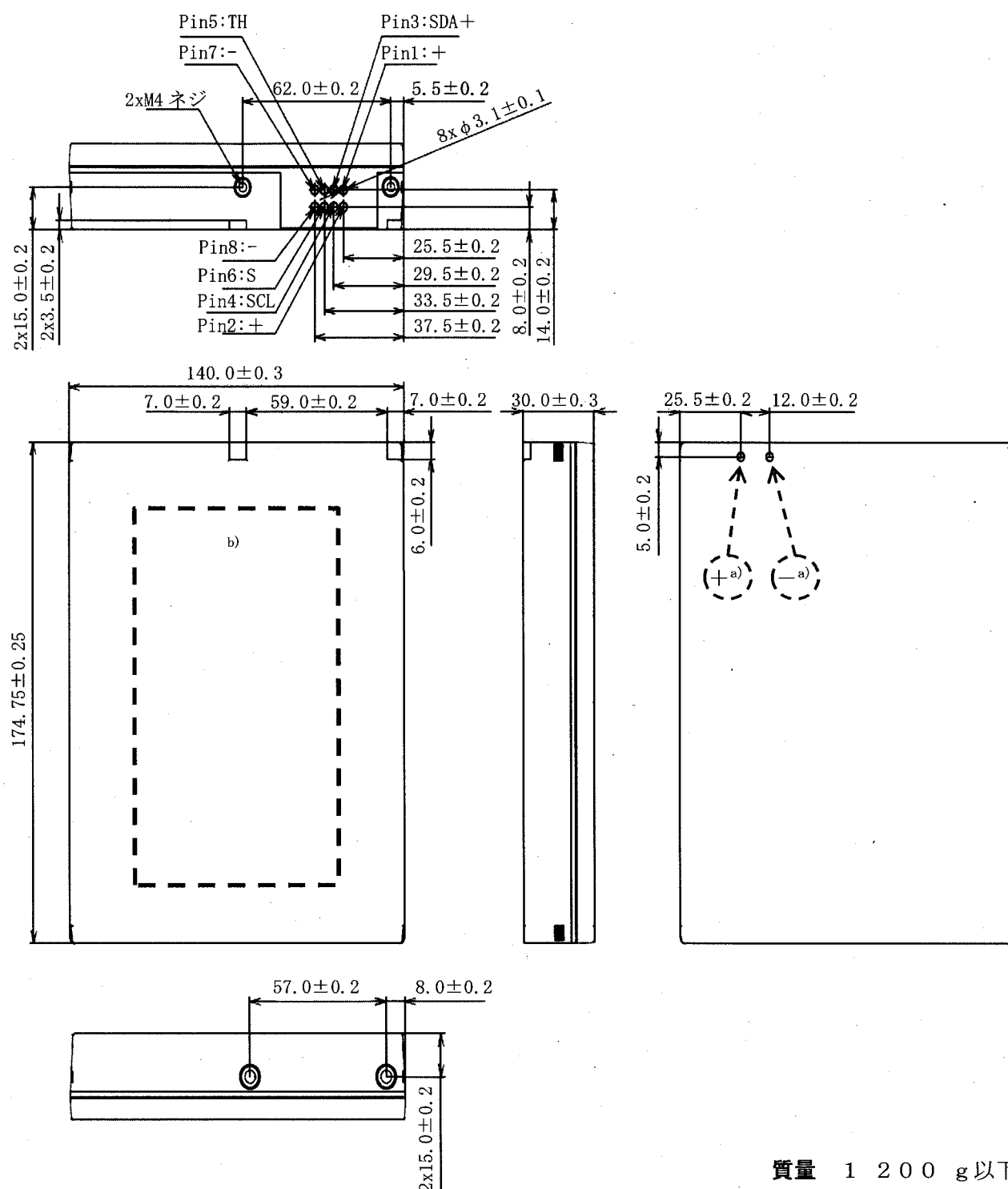


注^{a)} 極性表示

注^{b)} 品名, 製造年月, 製造者名, 取扱上の禁止事項及び再資源化マーク

図5-形状・寸法・質量 (JBB-7007)

単位 mm



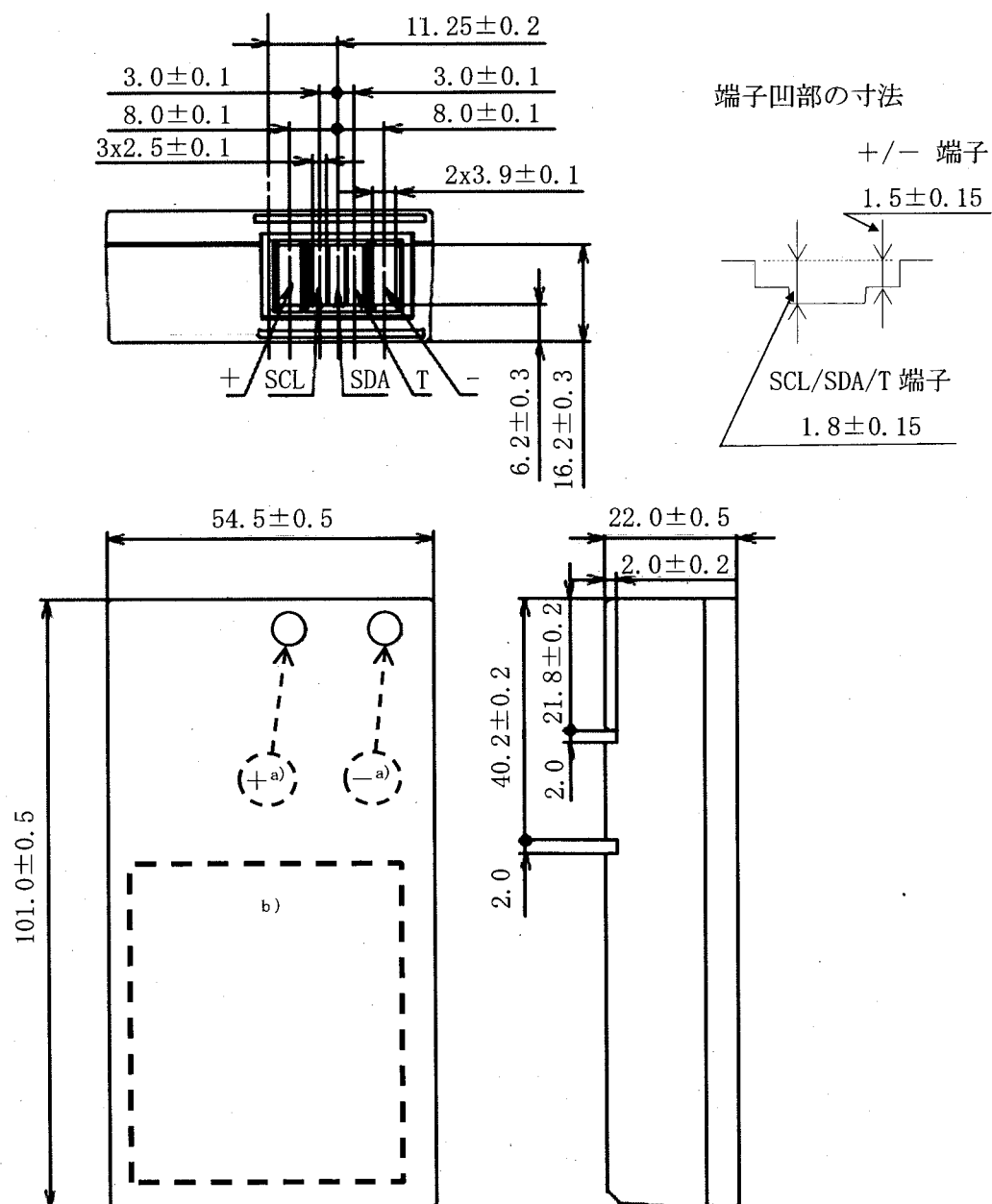
質量 1 2 0 0 g 以下

注^{a)} 極性表示

注^{b)} 品名, 製造年月, 製造者名, 取扱上の禁止事項及び再資源化マーク

図6—形状・寸法・質量 (JBB—7008)

単位 mm

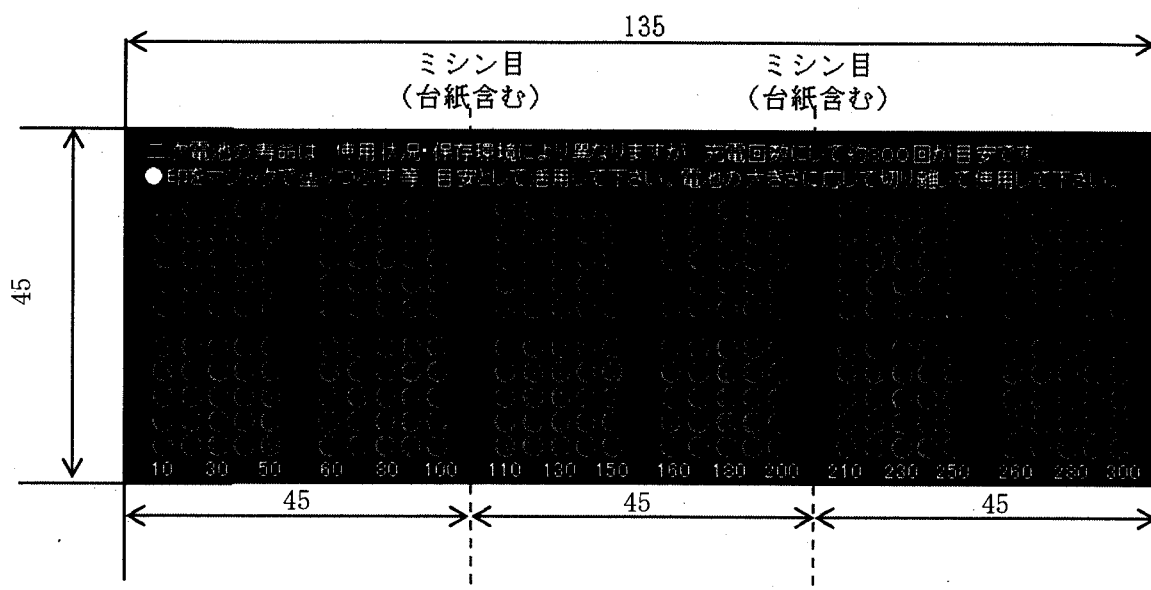


質量 180 g 以下

注^{a)} 極性表示

注^{b)} 品名, 製造年月, 製造者名, 取扱上の禁止事項及び再資源化マーク

図7—形状・寸法・質量 (JBB-7009)



- 注記** 材料は、PETWHITE50とし、表面コートは、PETラミネート25とする。
- 裏面粘着剤付とし、厚みは、20 μ m、粘着力は、JIS Z 0237 準拠の試験方法によって15.0 N/25 mm (24時間後) 以上の粘着力とする。
- 背景色 NDS Z 8201の色番号2706 [暗い灰色(2) N3] を標準とする。
- 文字色 NDS Z 8201の色番号2713 [灰色(3) N6(GY)] 又は、色番号2704 [灰色(2) N5] を標準とする。
- 文字サイズは、8ポイントを標準とする。
- 文字フォントは、ゴシック体とする。
- 印の直径は、3 mmを標準とする。
- 仕上がりは、3枚を1シートとし、有害なきず、かすれ、むら、にじみ、汚れ、けばなどの有害な欠点がなく、良好な仕上がりでなければならない。

図8—材料・形状・寸法(標準)・印刷内容